

山梨県立美術館 *News*

No.39

1-3

Yamanashi Prefectural Museum of Art 2008 WINTER-SPRING



>> 観覧料

	一 般	大・高生	中・小生
観覧料(前売・団体)	1,000(840)	500(420)	260(210)
パスポート(常設+特別)	1,240	580	290

特別展は展覧会名、会期、観覧料等変更される場合もあります。事前にお問い合わせください。

※団体料金は20名以上に適用。
 ※前売券は展覧会前日まで当館にてお求めいただけます。
 詳細はお問い合わせください。
 ※県内宿泊者割引:山梨県内の旅館等へ宿泊される方が、宿泊当日又は翌日に常設展・特別展を観覧する場合、個人でも団体料金で観覧できます。(宿泊クーポン券等をご提示ください。)

新収蔵品展 1月26日①▶3月2日①

平成18、19年度に新たに収蔵した、山梨県ゆかりの作家たちの日本画、油彩画、版画などの作品を特別展示室で公開します。日本画は、文人画家の谷文晁や水墨画家の近藤浩一路の作品などです。油彩画は、明治時代に活躍した中丸精十郎や、藤間清、小林正治といった戦後の画家の作品、ギャラリー・エコーでご紹介した阪本クロウの絵画などを展示いたします。版画は池田満寿夫のヴェネツィア・ビエンナーレ版画部門の大賞受賞作品や、既に特別展でご紹介したバルセロナ在住の山本文正の作品、深沢幸雄のコレクション作品などです。

なお、本展では、昨年度の特別展「近藤浩一路の全貌」を機に再発見された《鶏冠井青嵐(京洛十題のうち)》(個人蔵)を特別出品いたします。新収蔵の京洛十題シリーズ7点と並ぶのは、1925(大正14)年の個展以来という貴重な機会となります。

※これらの作品は無料でご観覧いただけます。



阪本クロウ《daily life》
2003年
アクリル・綿布



近藤浩一路《巨椋池浅春》
1924年
紙本墨画

開館30周年記念 田園讃歌－近代絵画に見る自然と人間 4月19日①▶6月1日①

19世紀フランスで活躍したミレーやバルビゾン派の画家は、田園風景や農民の姿を描きました。この時代、都市に住む人々にとって、田園風景はノスタルジックな思いをかき立てるものでした。そのため、絵画にあらわされた農村は理想郷とみなされ、収穫された穀物や干し草を積み上げた大きな山は大地の恵みとされました。この画題は、ジュリアン・デュプレやレルミットらサロンで活躍した画家たち、さらにはモネやピサロといった印象派の画家たちにも継承されました。

一方、日本の洋画家、浅井忠、黒田清輝、久米桂一郎らは、ミレーやピサロからの影響を受け、田園風景を描きました。明治後期から昭和初期に制作された洋画や日本画、南画、ポスターや写真でも、農耕・田園主題は重要なテーマのひとつでした。

本展では、国内各地に所蔵される19世紀フランス絵画や近代日本絵画の名品約150点で、「近代絵画に見る自然と人間」を多角的に紹介します。

※観覧料は上記のとおり



クロード・モネ
《ジュヴェニーの積みわら、夕日》1888-89年
油彩・麻布 埼玉県立近代美術館



ジャン・フランソワ・ミレー
《落ち穂拾い、夏》1853年
油彩・麻布 山梨県立美術館

>> 展覧会カレンダー

年始は1月2日(水)より開館。館内整備のため1月15日(火)～21日(月)は休館いたします。ご理解くださいますようお願いいたします。
 2月の休館日は4・5・12・13・18・19・25・26日です。

	1月	2月	3月
本館常設展示室	常設展 冬季 11/27～2/17	常設展 春季 2/20～	
南館展示室	常設展 冬季 12/4～2/24	常設展 春季 2/27～	
本館特別展示室		新収蔵品展 1/26～3/2	

1月	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

2月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	

3月	日	月	火	水	木	金	土
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31	4/1	2	3	4	5

新春 館長トーク

山梨県立美術館のコレクションや山梨県の美術について、館長がわかりやすく話をします。

◆「新収蔵品展のたのしみ方」

- 日 時 2月2日(土) 午後2:00～3:30
- 講 師 白石和己(山梨県立美術館館長)
- 会 場 総合実習室(申し込み不要、入場無料)

美術体験講座・実技講座

◆「油彩画」初心者コース ※美術館職員が指導に当たります。

油彩画を初めて体験する方のための講座です。

- 講座日 1月13日(日) 午前10:00～午後3:30
- ※1月になってからの申し込み希望者は電話にて受けつけます。

◆「油彩画」講師:堀内 洋子(作家)

白と黒の絵の具を使ってモノクロームの世界を描きます。(初心者は初心者コースを受講した方のみ対象です。)講師指導の4日間出席できる方に限ります。

- 期 間 1月27日(日)～2月17日(日) 午前10:00～午後4:00
- 講師指導日 1月27日・2月3日・10日・17日の日曜日
- 申込期間 1月10日～16日

◆「オープンアトリエ」

版画以外(油彩画・水彩・日本画・デッサン・彫刻など)を自由に制作できる場を提供します。

- 期 間 2月20日(水)～3月16日(日) 午前10:00～午後4:00
- 申込期間 2月7日～14日

※体験講座受講の注意事項

- 定員は20名程度。初めて講座を受けられる方を優先します。
- 講座期間中は、休館日を除いて毎日、美術館工房で制作することができます。きちんと約束を守って使用してください。
- 受講料は無料です。必要な用具・材料は個人負担または各自ご用意いただきます。詳しくは返信はがきをご覧ください。

美術体験講座等の申し込みについて

- 申し込み方法 往復はがきの往信面に①参加希望コース名②郵便番号・住所③氏名(ふりがな)・年齢(学生の場合は学校名と学年)④電話番号(ファックス番号)⑤経験の有無を、返信面には郵便番号・住所・氏名を必ず記入してください。
- 申し込み先 山梨県立美術館「美術体験講座」係 ☎055-228-3322

つくろう! あそぼう! 造形広場

協力:山梨学院短期大学保育科

リサイクル工作・積み木などの造形活動の場を提供します。
この日は土曜日なので子どもたちは展覧会観覧が無料となります。
気軽に美術を楽しんでみましょう。

- 日 時 1月12日(土)・1月26日(土)*・2月9日(土)・2月23日(土)*
3月8日(土)・3月22日(土)* 各回午後1:30～3:30
※文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業
- 対 象 幼・小学生100名程度(申し込み不要)
- 会 場 ワークショップ室
- 参加費 無料
- 問い合わせ先 山梨県立美術館「造形広場」係 ☎055-228-3322



2007年9月「バクバクきょうりゅう」会場風景

ミュージアム・シアター

美術館では毎月、美術に関する映像を紹介しています。

1、2月は、ヌーヴェル・ヴァーグ傑作選の中からアラン・レネ、ジャン＝リュック・ゴダール監督の短編を紹介します。申し込み不要、入場無料ですのでお気軽にご参加ください。

- 1月26日(土) 「ヌーヴェル・ヴァーグ短編傑作選 アラン・レネ監督『ヴァン・ゴッホ』『ゲルニカ』『ゴーギャン』」
- 2月23日(土) 「ヌーヴェル・ヴァーグ短編傑作選 ジャン＝リュック・ゴダール監督『男の子の名前はみんなパトリックっていうの』『水の話』『シャルロットとジュール』」
- 3月22日(土) 「春休み 子どものための映画会 ミトン ほか」

- 時 間 午後1:30～2:30
- 会 場 総合実習室(申し込み不要、入場無料)

ニューイヤー・コンサート

新春の音楽の調べをお楽しみください。

- 日 時 1月6日(日) 午後2:00～3:30
- 演 奏 山梨交響楽団
- 会 場 総合実習室(申し込み不要、入場無料)

【プログラム】※変更になることもあります。

- ◇ハイドン作曲 弦楽四重奏曲 第79番二長調「ラルゴ」
- ◇バッハ作曲 カンタータ 第156番より「アリオソ」
- ◇グリーグ作曲 組曲「ホルベアの時代より」
- ◇イングランド民謡 「グリーンズリーヴス」



2007年ニューイヤー・コンサート会場風景

美術館ロビーコンサート

美術館では毎週日曜日、「日曜日は「美術&音楽」で楽しもう!」をテーマに、ロビーコンサートを開催しています。

- 日 時 毎週日曜日 午後2:00～2:30
- 演 奏 県内音楽家のみなさんによるアンサンブル
- 会 場 1Fロビー(申し込み不要、入場無料)

ミレー《落ち穂拾い、夏》の展示休止について

2007年10月中旬から2008年4月上旬まで、特別展「田園讃歌」に当館の《落ち穂拾い、夏》が貸し出されるため、ご覧いただくことができません。この期間、ミレーの他の主要作品は通常通り展示いたします。なお、この特別展は2008年春、当館に巡回します。(詳細は左ページ)

表紙解説

ジャン＝フランソワ・ミレー 《ポーリーヌ・V・オノの肖像》
1841-42年頃 油彩・麻布 73.0×63.0cm

1837年にパリに出て、画家となるべく勉強した若きジャン＝フランソワ・ミレーは、何度か故郷に戻っています。生まれ故郷グリュシーで過ごすほか、生活の糧を得るためにシェルブールで肖像画を多く手がけました。

ここに描かれているのはシェルブールの仕立屋の娘、ポーリーヌ・ヴィルジニ・オノ。ミレーの最初の妻です。レオナルド・ダ・ヴィンチの《モナリザ》と同じポーズを取ったポーリーヌは、潤んだような目でこちらを見えています。

二人は1841年11月16日に結婚しました。結婚後すぐに二人で数日間グリュシーに帰ったとき、ミレーの祖母と母は彼らのために祝宴を催し、グリュシーとシェルブールの家族や友人が出席したとのこと。その後二人はパリで新婚生活をはじめました。しかし3年後の1844年4月21日、この絵からも分かるように華奢で、あまり体の丈夫ではなかったポーリーヌは、肺結核のため22歳でこの世を去ってしまいます。そのときミレーは29歳。二人の間に子どもはいませんでした。

展 覧 会 名	会 期	会 場	問い合わせ先
駿台甲府高等学校 美術デザイン科展	1月 4日(金)～1月 9日(水)	AB	055-251-6445
柏原恵美展	1月 4日(金)～1月 9日(水)	C	0553-32-4737
教育祭県下小中学校 図工・美術作品展	1月10日(木)～1月14日(月)	ABC	055-228-3165
微墨会展	1月22日(火)～1月27日(日)	ABC	0554-63-3833
山梨県教職員文化展	1月29日(火)～2月 3日(日)	AB	055-223-1745
バビット展	1月30日(水)～2月 3日(日)	C	0551-36-3641
山梨墨画院展	2月 6日(水)～2月11日(月)	AB	0551-32-3076
教育祭県下小中学校 書きぞめ大会展覧会	2月 6日(水)～2月11日(月)	C	055-228-3165
山梨美術協会 会員展	2月14日(木)～2月21日(木)	ABC	055-276-2201
県職員文化展	2月23日(土)～2月29日(金)	AB	055-223-1378
甲斐のぼこんとう、よっちゃんばれ展	2月22日(金)～2月29日(金)	C	055-276-9171
山梨大学教育人間科学部美術教育専修 卒業制作展	3月 1日(土)～3月 7日(金)	AB	055-220-8254
NHKギャラリー賞絵画展	3月 1日(土)～3月 7日(金)	C	055-222-1314
春陽会山梨研究会 やまなみ会展	3月 8日(土)～3月14日(金)	AB	0553-33-5713
女性カメラグループ虹の会 会員展	3月 8日(土)～3月14日(金)	C	055-251-1976
玄速書道師範会会員展	3月15日(土)～3月21日(金)	ABC	055-233-6504
東土会絵画展	3月22日(土)～3月28日(金)	A	055-264-2108
蒼の会書展	3月22日(土)～3月28日(金)	B	055-251-3785
山梨写真研究会 会員写真展	3月22日(土)～3月28日(金)	C	055-237-4173
ニッコールクラブ山梨支部写真展	3月29日(土)～4月 4日(金)	AB	0553-47-0754

※公開時間や展覧会の内容については、各団体にお問い合わせください。

※県民ギャラリーABの使用申し込みは、1月5日('08年12月分)、2月1日('09年1月分)、3月1日('09年2月分)です。

※県民ギャラリーCの使用決定日は、1月5日('08年6月までの空室分)、2月1日('08年7月～9月分)です。

いずれも、午前10:00までに美術館会議室にお集まりください。

※県民ギャラリーCの使用希望の際は、使用決定日の2週間前までに施設利用計画書の提出が必要です。詳細はお問い合わせください。

■ 案 内

利用のご案内

>>開館時間 午前9:30～午後5:00（入館は午後4:30まで）

>>休館日

1月1・7・15～21・28日／2月4・5・12・13・18・19・25・26日／
3月3・10・17・24・31日

>>観覧料 特別展示は観覧料等変更になる場合があります。

	バスポート (常設+特別)	常設展		特別展		美術館/文学館 常設展共通券
		個人	団体	個人	前売・団体	
一 般	1,240円	500円	*400円	1,000円	*840円	650円
大・高生	580円	210円	*160円	500円	*420円	320円
中・小生	290円	100円	*80円	260円	*210円	160円

※20名以上の団体、前売券、県内宿泊者割引に適用

>>その他割引について

		常設展	特別展
小・中・高・特別支援学校生		土曜日無料	
※教育課程(小・中)	県 内	無 料	通常料金
※教育課程(高校生)	県 内	半 額	通常料金
高齢者(65歳以上)	県 内	無 料	
	県 外	無 料	通常料金
障害者手帳所持者		無 料	

※教育課程(授業等)による観覧は、事前に申請が必要になります。

※障害者手帳をお持ちの方の介護を行う方(1名まで)も無料となります。

>>年間パスポート(定期観覧券)

発行日から1年間、山梨県立美術館の常設展・特別展を何回でも観覧できる便利でお得なパスポートです。

一般:3,000円 大・高生:1,500円 中・小生:750円

>>4館共通定期観覧券の販売について

発行日から1年間、県立美術館・博物館・考古博物館・文学館の常設展・企画展(特別展)を何回でも観覧できる、お得な観覧券(ミュージアム甲斐in券)です。

一般:5,000円 大・高生:2,500円 中・小生:1,250円

サービス

>>ロッカールーム 美術館の観覧者は、無料ロッカーがご利用できます。(使用した100円は、使用後に戻ります。)

>>駐車場 乗用車380台、バス17台、身障者専用6台の無料駐車場がご利用できます。

>>ボランティア・デスク ボランティアによる館内のご案内、道路案内、クローカーサービスなどを行っています。また身障者の方への観覧のお手伝いもしています。

>>車椅子、ベビーカー、ベビーシート、トイレ 車椅子、ベビーカーを用意しております。ご利用になりたい方は館職員までお申し出ください。オストメイト用トイレが1ヶ所、また各トイレにはベビーシートがご用意しています。

>>ミュージアム・ショップ 1Fミュージアム・ショップではカタログ、本、ポストカード、複製画などを販売しています。

>>レストラン・カフェ (アート・アーカイブス) 約50席。お食事、カフェが楽しめます。(レストラン直通 055-232-3855)

アクセス

中央自動車道甲府昭和インターより

- アルプス通りを湯村方面に向かい、貫川交番前交差点を左折し、1.5km直進して左側。
- 国道20号を荻崎方面に向かい約2km進行、山梨神社北交差点を右折し約1km直進後右折、甲府市街方面へ約1.5km直進して右側。

JR中央本線甲府駅より

- 駅前バスターミナル⑥番乗り場からバスで約15分、「県立美術館」下車。
(竜王駅経由敷島営業所・芦安・大草
経由荻崎・貫川団地・社会福祉村・中村
循環、総合交通センターいずれでも可)
- タクシーで約15分。(料金1,500円程度)

昇仙峡より

- 敷島営業所行きバスで「県立美術館」下車。

